

- 語り合う
- 生命誌の広場
- 中村桂子のちよつと一言
- ラボ日記
- 表現スタッフ日記
- さまざまな交流
- 生命誌のこれからを考える

生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちよつと一言」
- 研究について
- 季刊「生命誌」
- 展示・映像
- その他

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日 [この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日 [RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日 [アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日 [原爆について](#)
- 2019年09月05日 [BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日 [この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月
GO

みなさんからのご意見

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：EKO・EKODA

療術師として整体を仕事にしています。お一人お一人のお客様の筋肉の復活を指先で感じる時に、個々の身体の命の力を教えられ、又、個々の力でバランスを整えていく力に感動します。中村先生のお言葉にいつも輝きを感じています。今回も「しかし現実には経済と利便性を求めているのちへの配慮を欠く方向へと進んでいます」という文字に嬉しく思いました。私も出会う方々に、「楽」をすると、動かなくなるから、大変だけれど自分の力を使いましょう！とお話しています。いつも沢山の心のヒントありがとうございます。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

生命誌の考え方をお仕事と重ねて生かして下さっていること、ありがとうございます。小さな活動ですが願いは大きく持っています。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

さまざまな専門家の方にご覧いただいていることがわかり、大変嬉しくなりました。日々人のからだや生きものに接している方の貴重な声をいただきました。生命誌の表現に生かしていきたいと思えます。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：始終巻

ペーパークラフトが素晴らしいです。いつも楽しみにしています。テーマの動詞も素敵な切り口です。サブとして、動詞とセットになることが多い名詞など（目的語等）を取り上げると良い気がします。 ex.容「器」うつわなど。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

ペーパークラフトは、まさに最先端の科学を正確に、美しく、楽しく、という生命誌の考えを具体化するもので、担当者苦心の作です。おかげさまで皆さまに評価していただけて、また次の苦勞へと向う力です。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

素敵なアイデアありがとうございます。紙工作は生命誌の容器（うつわ）シ

新着情報



10月19日生命誌オープンラボ (19.10.01)

10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会(19.10.01)

昆虫脳の標本展示が登場！(19.10.01)

パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始(19.10.01)

あくあびあ芥川とスタンプラリー開催 (19.10.01)

リーズとして、今年のテーマ「容」と関連付けたりと、毎年違った工夫を試みています。テーマも紙工作も、より良い伝え方・表現の仕方を模索していきます。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：ありすねこ

100号おめでとうございます。子供と共に読み、工作していましたが、今は自分のためにわからないところはググりながら作っています。こんな素晴らしい内容を送っていただき感謝です。共生はまさに今、私達が大切にしなければと。友人にも紹介しました。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

まだもう少し先ですが100号へ向けているいろいろ考えていきます。お友達への紹介、これからもよろしく願いいたします。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

ご自身で調べながら楽しんでくださっているとのこと、ありがとうございます。96号のResearchのテーマである「共生」へはいくつもお感想をいただいております。多くの方がその大切さを実感されているようです。今回ご紹介した研究のように、思わぬ形で実現した生きものの共生関係に、私たちが学ぶところはたくさんありそうですね。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 名前：Y.K.

生命誌から全てが垣根を越えてつながっているという視点を教えてもらいました。リサーチ等の論文は門外漢には難解ですが、本誌は編集記述の巧みさと表現の工夫で科学を身近にする読後感をいつも残してくれます。こんな風にまとめられるかと図解工夫にも感心しています。科学学術誌にかような投稿が経験出来るとは思いもよりませんでした。埋没しがちな日々の生活の中に「知」を、知的好奇心を育て下さる生命誌に御礼申します。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

生活の中の「知」という形で受け止めて下さっていることとてもありがたく思います。生命誌はまさにそれを求めておりますので。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

生命誌を、生活の中の知として素直な眼でご覧いただいているのだと嬉しくなりました。私たちは「生きている」を考える総合的な知をつくりたい活動しており、そのためには「全てが垣根を越えてつながっている」という視点が不可欠だと思っています。これからも多様な分野の知を容れ、つなげていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：Akira Yamaguchi DVM

生命の持つ崇高な仕組みには、貴誌を通じ、いつも驚きと感動を感じており、

大ファンの一人です。調和ある相互関係と多様性をもった生物進化の教訓に、もっと人類は学ぶべきと考えている一人でもあります。仕事から、大動物の医療技術にたずさわっておりますが、人類の社会的（生態学的）進化が試される時代と考えます。ぜひ免疫学の特集も。貴誌のポリシーに期待大。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

ポリシーに期待大と言っていたいただくと自然に口元がほころびます。これからの社会にとっても大事なことを考えているつもりでやっておりますので（小さい活動ですけど）。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

生命誌のポリシーを評価していただき、ありがとうございます。動物の医療というご自身のお仕事の中でも、日々さまざまなことを感じておられることと思います。生命誌では生きものに学ぶ姿勢を大切にしたいと思っていますので、これからもお付き合いください。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：相模のラクダ

(1) 今号より、BRHカードの開封、収納がしやすくなり、Goodになりましたね！（100号も間近で御祝いですね）(2) 自分のバイオ関係の勉強や、セルの最新情報のトレンド環境の入手に使わせていただいております。(3) 各号の論文、対談も興味と奥深く楽しみです。又、専門家の学術レポートを心待ちにしています。(4) 提案ですが、このBRHカードは学術的ポテンシャルも高く、毎号、紙工作も付いており、予算の許す限り、中学・高校の生物系クラブに配布すれば、JT様の社会貢献にも寄与するものと思います。紙工作は2次元→3次元になり、毎号よく考察されており、感心しています。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

カードの開封についての御意見、苦笑いです（他人事みたいに言いますが）。作る人たちは工夫に工夫を重ねるので、難しいものになったりします。それも含めて楽しんでいただけることを願っていると思います。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

ケースから紙工作まで、余すことなくお楽しみいただきありがとうございます。リサーチを編集する際は最新の情報を意識しつつ、本当に伝えたいことは何かをしっかりと考えるようにしています。またご提案ありがとうございます。生命誌カードと書籍は、全国の中学・高校にお送りしてご活用いただいておりますが、今後も広げ方を考えていきたいと思っています。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 名前：Y.O.

年齢を重ねるにつれ、世界がだんだん狭くなる（単調になる）気がしますが、カードの小さな字を追っていると、いつしか未知の（複雑な）世界が現れ、ホッと、心が広々としてきます。もちろん深い意味などはわからないことだらけですが、それでも感心や感動はつきません。子供の頃からの理科好きの延長で読ませていただいております。（出版費は？などと心配しつつも）。伊藤若冲の「池辺群虫図」を見たとき、これは生命誌を描いているのだと思いました。また若松英輔さんの『魂にふれる』における生者と死者の協同の営みとしての日常というものは、相利共生と重なるところはあるのか、などと思ったりしてい

ます。中村さんと若松さんの対談はぜひ実現してほしいです。これからも楽しみにし、応援しています。ありがとうございます。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

応援ありがとうございます。年齢を重ねるにつれてのさまざまな思いを”ちょっと一言”として書いていますので、お読み下さって、感想をいただけると嬉しいのですけれど。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

生命誌を若冲に重ねていただき、ありがとうございます。「池辺群虫図」ではありませんが、生命誌研究館の「生命誌絵巻」は、38億年前から今日までの生きものを一つ一つ生き生きと描いています。ご自身の視点で生命誌を受け止め、広げてくださっていることを嬉しく思います。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 名前：神戸市立六甲アイランド高校図書館

いつもお世話になり、ありがとうございます。本校は文部科学省よりSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）に指定されている高等学校です。多様な進路希望を持つ生徒に生命、ライフへのまなざしを深めてほしいと、寄贈いただいている季刊誌等を図書館で展示、貸出し等を行い活用しております。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

高校生に活用していただけるのは最高に嬉しいことです。どんなことを勉強し、どんな社会をつくる人になるかというところでお役に立つといいなと思っています。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

多様な進路希望の生徒さんに利用いただいているとお聞きし、嬉しく思いました。生命誌は、科学はもちろん哲学や芸術などの分野も含めて「生きていてどうということだろう？」と考えていますので、さまざまなお関心をお持ちの方に手にとっていただけるよう願っています。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：名川早子

学校のべんきょうがたいくつだったからこれですごくらくになれてうれしかった。ないようもせいさくもおもしろいです。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

生命誌のカードをととても楽しんで下さっているのは嬉しいです。学校の先生にこのカードをすすめてみたらどうかしら。いっしょに楽しめるかもしれませんよ。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

生命誌を楽しんでくださって、とてもうれしいです。これからも工夫をこらして記事と紙工作をつくっていきます。長いおつきあいをよろしくおねがいします。

季刊「生命誌」

季刊生命誌WEBフォームより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：サミー

科学研究の進歩や現状に興味があるので、記事は毎号全て読んでいます。ユニークな研究が分かり易く記載されており、とても面白いです。SCIENTIST LIBRARYは研究者の生い立ち、性格、研究経歴、研究哲学を知る事が出来、驚いたり、敬服したりします。世の中の役にたつかどうか分からなくても、ある割合の研究者には、好きな様に研究してもらう環境を整える必要があると思います。文部科学省が単に財政面から、大学の予算やポストを減らすのは、近視眼的です。JTが生命誌館をサポートされている事に敬意を表します。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

科学への御関心から楽しんで下さっていること、ありがとうございます。とてもありがたいのですが、そこから「生きている」や「生きる」を考えようとしている部分にもご注文をいただけると嬉しく思います。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

Scientist Libraryをじっくりお読みいただき、大変嬉しく思います。若い人の研究環境が厳しいという話は、取材をしていてよく耳にしますが、研究者に限らずあらゆる職業の方が生き生きとはたらける社会になったら素晴らしいですね。季刊誌で科学者の人生を通して「生きる」を考えていきますので、お付き合いください。

季刊「生命誌」

季刊生命誌WEBフォームより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：harumao

仕事で専門用語を調べているときに、偶然サイエンティスト・ライブラリーにたどり着きました。関連する箇所だけ拾い読みするつもりが、ぐいぐい引き込まれて、一気に読んでしまいました（No.89の坂口志文先生）。研究内容がわかりやすく紹介されているだけでなく、研究者ご自身の半生や考え方を知ることができ、このような季刊誌に巡り合えて大変うれしいです。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

このような形で偶然入って下さった方が生命誌の仲間になって下さるのは嬉しいことです。対談（TALK）で科学以外の分野の方の考え方にも関心を広げて下さると楽しいと思います（ちょっと押し売り）。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

Scientist Libraryをご覧いただき、ありがとうございます。私たちが坂口先生に取材に伺った際、物静かでありながら熱意を感じさせるお人柄と、その人生のお話に引き込まれました。文章からそれを的確に受け止めてくださって大変嬉しく思います。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：みず玉

生きる事に迷っている時期がありました。本当に苦しくて・・・今でもまだうまく機能していない体があるのですが・・・。ある時なぜか「生命誌研究館」にフラッと行きたくなりました。生きている意味が知りたかったから。以前から中村館長のファンで笑顔がとてもすきでした。今でもとても心がなごみます。「生命誌」を読んでいるとまるで別世界にいる様な気がして、ホントに人間って、私って”ミジンコ”より小さいなと思うのです。毎回とても感動しています。中村館長の対談も好きです。いつも笑顔がとてもステキです。笑ってみたいと思います。又伺いたいと思います。ヒトの原点がある様に思うのです。スタッフのみなさん、ありがとうございます。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

とても嬉しいお便りありがとうございます。このような受け止め方をしているただけのは本当にありがたいことです。知識の普及・啓蒙をやっているのではないという気持を支えていただきました。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

ご感想ありがとうございます。生命誌では、人間は自然の一部であり、数ある生きものの一つだという視点を大切にしています。それをご自身の感性で受け止めてくださったことがとても嬉しいです。これからも来館者の方・読者の方と共に「生きているってどういうことだろう？」と考え続けます。また何度でもお越しください。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：NORI

生命の不思議さを感じるため読んでいます。私たちがこのすばらしい環境の中で生きていることを認識させるため生命誌は大切な役目をはたしています。毎回の工作は孫（小1）と一緒に楽しんでいます。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

ありがとうございます。工作は好評で、作りながら考えるということは大事なのだなあ実感しています。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

素敵なご感想ありがとうございます。私たち自身、生きものの意外さや不思議さに驚いてばかりです。これからもその気持をもって作り続けていきたいと思っておりますのでお付き合いください。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：ラブカ

年間テーマの切り口が毎回秀逸で粋です。また、SCIENTIST LIBRARYやRESEARCHの分量が程良く且つ、易しい語り口で読み易いです。組み立ては小学5年の息子が、毎回楽しみにしています。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

テーマを「動詞」ときめてから、毎回次は何にしようと思えるのが楽しみです。生きものとして変わらない大事なことと、時代に必要なこととを合わせて浮び上るものを見つけることにしています。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

年間テーマは毎年皆で一生懸命考えて決め、決まったらそれをどのように多彩な形で展開するかをまた一生懸命考えます。この過程で生まれたひねりやユーモアを含めて「粋」と評してくださって、とても嬉しく思います。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：くみこ

小さい頃から、生命誌研究館に通い、小田先生のラボのサマースクール?にも通わせていただきました。ショウジョウバエの幼虫の解剖がとても気に入って、夢中になったことを今でも覚えています。先日5歳の姪を連れてお伺いしました。彼女にも、私の大好きなナナフシたちを紹介しました。彼女が、分からないなりに、DNAの塩基配列を夢中で並べている姿を見て、やっぱり生命誌研究館って素敵だなあと思いました。春から新社会人になり、上京します。帰省のたびに、また訪れたいと思っています。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

このようなお知らせが一番嬉しいです。研究館の願いをそのまま具現化して下さっている。こういう仲間がふえることを願っています。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

小さい頃から生命誌研究館を楽しんでくださっていたとのこと、ありがとうございます。素敵な来館者の方に生命誌研究館は支えられているのだと嬉しくなりました。これからも何度でもお越しください。お待ちしております。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：しん

毎号楽しみにしています。限られた紙面（量）の中で分かりやすく伝えるのはとても難しいのにスタッフの方々に敬意を表します。100号とのことおめでとうございます。200号、300号と継続していただきたいと願っています。そのためには親会社のJTさんの理解がないといけませんね。JTさん、よろしくお願い致します。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

もうすぐ100号というところまで来られたのは皆さまのおかげです。続けるためには、広がり的大事ですので（生きものと同じです）、広める御助力をお願いいたします。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

お心遣いありがとうございます。カードをつくる時、限られた誌面で伝えるべきことは何だろうと考え抜くことで、「そうだったのか!」と気づくことがたくさんありますので、それを上手に伝えたいと思っています。100号もそのあともよろしく願いいたします。

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.04.27 ニックネーム：のりまち

ライフサイエンス分野の研究を企業でしてます。同じグループのメンバーに回覧して、工作は子供（小学生）のおもちゃ用にしています。いずれも好評。新しい知見を常に情報収集して、現在の業務のアイデアに活かしたいと思っています。これからも最新の情報楽しみにしています。

お返事

投稿日：2018.04.27 名前：中村桂子館長

お仲間へ回覧して下さっているとのこと、ありがとうございます。工作はお子様で作られた後、その意味と一緒に考えて下さると更に面白く活用していただけると思います。

お返事

投稿日：2018.05.02 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

生命科学の専門家からお子様まで、幅広い方々に楽しんでいただけて嬉しいです。「生命誌は何歳向けですか？」とよく質問いただくのですが、「ご関心をもつ皆さんに向けて」とお答えしていますので。これからもよろしくお願ひします。

その他

キアゲハ

投稿日：2018.04.18 ニックネーム：K.N.

何年か前に、送っていただいた蝶の食草の種セット。
人参とセリ無くなりましたが、イタリアンパセリだけはたくましく子孫を残して、世代交代しつつ未だ庭で元気に育っています。
お陰様で毎年 うちの庭からキアゲハが元気に飛んで行っています。

今年も先ほど玄関先で成虫を見つけました。

今日の関東はあいにくの雨で気温も低く、羽化したばかりの羽も濡れていたの
で そっと室内に連れて入って 今は植木鉢のガーベラの上で雨宿りさせていま
す。
(画像をお送りできるといいのですが)

食草のタネ その後のお礼かたがた ご報告でした。

お返事

投稿日：2018.04.18 名前：中村桂子館長

御報告ありがとうございます。我が家でもイタリアンパセリは元気です。この気候が合っているのでしょうか。今年はウグイスがやけに早く3月半ばには上手に鳴き始めたと思ったら、チョウはあまりやって来ません。季節の変化が不規則で鳥や虫も戸惑っているのかもしれないと思いながら、賑やかになるのを待っています。



中村桂子の「ちょっと一言」

空中庭園の記事

投稿日：2018.04.16 ニックネーム：ほのま

いつも心に沁みるお話しを有難うございます。以前伺いました38度線上の空中庭園のお話は、もっとも政治的であり、悲惨な状況であるにもかかわらず、だからこそ、人が踏み入れないので素晴らしい生態系となっていること、それを活かす道を考えられた方がおいでになることに心が揺さぶられました。チロリン様のお陰で、記事をご紹介頂き感謝しています。

しなやかな智慧を持ちたいと思いました。有難うございました。

お返事

投稿日：2018.04.17 名前：中村桂子館長

空中庭園に関心を持っていただいております。崔さんも焦らずにコツコツとやろうねと言っていますので、見守って下さい。4月18日夜に始まるNHKラジオ深夜便で4月19日の1時頃、「私じまい」というコーナーでお話をします（前半は先週すんでしまいました）。いつもと変らぬ話ですが。



中村桂子の「ちょっと一言」

怖い嘘

投稿日：2018.04.02 ニックネーム：チロリン

子供の頃の他愛ない作り話は微笑ましいものですが、昨今の責任ある立場の方々の嘘と思われる発言には情けなくて見ているこちらの方が辛くなります、国民はすぐ忘れられると思われている様ですが忘れない様にせねばと思います。

昨日のお集まりでお話下さった38度線の話とても関心があります。機会があったらこの場でアップして頂きたいです、自然の素晴らしさと地雷の怖さなど大勢の方に知って貰いたいです。

お返事

投稿日：2018.04.06 名前：中村桂子館長

[PDFファイル](#)

いつもありがとうございます。
今年桜が急に開き人間たちを慌てさせましたが、自然は嘘をつかず、冬の間からの気温の変化などに忠実に動いているのでしょうね。桜の気持の理解が難しく4月7日と8日の休日を「さくらまつり」ときめてしまった我が街はどうするのかしらと気がかりです。
38度線の話、関心を持っていただきありがとうございます。お言葉に甘えて以前新聞に書いた記事を貼付しますので、お読み下さるとありがたく存じます。

▲ ページの先頭へ